

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市愛子児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 32,475人 (前年度比 122.7%) 平成29年度 26,470人 平成28年度 26,915人 平成27年度 23,651人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 54,142千円 (46,344千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、年度末に地域の方への「感謝の会」を実施し、実行委員が企画・運営に主体的に関われるよう援助している。夏季休業中の生活時間について子どもと話し合う機会を設けたり、子ども自身が本を選んで読み聞かせを行う「読書タイム」や、進行を子どもが行う「帰りの会」などにより、子どもが見通しを持ちながら主体的に過ごせるように支援している。中高生の利用に関しては、中学生向けチラシの作成・掲示による情報提供など、広報に取り組んでいる。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「安全・安心な地域の集いの場づくり」を重点目標とし、その具現化に向けて地域や子育て諸団体等と連携を図りながら児童館運営に取り組みました。</p> <p>まず、幼児対象事業として、自由参加型の「ほっとタイム」「すてっぷタイム」「じゃんぷタイム」をほぼ毎週実施することができました。また、登録制の幼児クラブは36組の登録があり、火曜日に29回活動することができました。年齢に合わせた工作や運動遊び、季節の行事を取り入れた企画は好評で、多くの親子が参加しました。これらの活動を通して親子の触れ合いだけでなく参加者同士の交流も図られ、子育ての負担感や孤立感の軽減につながりました。</p> <p>小学生を対象とした事業では、愛子の森探検、マンカラ大会、オセロ大会、工作教室、将棋教室、コマ教室、凧作り、科学教室などの企画行事や土曜日事業を展開しました。これらの活動を通して遊びの輪も広がり、異学年交流や地域の高齢者の方との交流も深まりました。また、地域のボランティアによる月1回の「お話し会」では、児童の興味関心をひく絵本や紙芝居が紹介され、読書に対する関心の高まりが見られました。</p> <p>児童クラブ運営では、登録人数の増加に伴い、安全・安心に過ごせるように児童館での過ごし方や遊び方を児童と共に見直したり、高学年がリーダーシップを発揮できる場面を設定したりしました。その結果、楽しく安全に、他の人に迷惑をかけずに遊んだり過ごしたりする仕方が身についてきました。</p> <p>年2回の児童館運営委員会では、「児童館に期待すること」をテーマに地域連携の視点で運営委員の方から建設的なご助言やご意見をいただきました。その結果、児童が望んでいた将棋部との交流や町内会の方との触れ合い、地域行事への参加が実現するなどさらに交流の輪が広がり、充実した活動を展開することができました。これらの活動や利用者アンケートを総括した結果、今年度の重点目標は達成できたと考えています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>乳幼児を対象に、発達に応じた自由参加の行事を毎週実施するほか、登録制の二つの幼児クラブを隔週で設けるなど、親子の関わりや参加者同士の交流を促進している。また、子育て支援クラブと連携した保護者のリフレッシュ行事や、保育士、保健師、歯科衛生士、栄養士等と連携した育児情報の提供、気軽に相談できる場の提供など、子育て支援に取り組んでおり評価できる。</p> <p>子どものよさこい発表、職員によるブース出店等で地域行事に参加し交流を図っている。老人クラブの方々等と児童館活動で直接交流する機会を設けるほか、地域の自然を生かした「愛子の森探検」などの実施を通して、子どもの関心、活動、交流を地域の中に広げるなど、地域で健全育成を進める環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>児童クラブにおいては、愛子小学校、上愛子小学校内にサテライト室があるが、職員の連携等に配慮した運営に取り組んでいる。また、クラブ通信の発行等により、育成支援の内容や子どもの姿を適切に家庭に伝えることで、児童クラブへの理解から保護者との連携につながっている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室